

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 急性期脳卒中患者における 6 分間歩行距離と関連する入院前・入院時の因子の検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 芦澤遼太 (リハビリテーション部・理学療法士)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：研究実施承認後～2021 年 12 月 31 日

目的：6 分間歩行距離 (6MWD) は、運動耐容能を評価する代表的な評価であり、様々な疾患患者に広く用いられています。脳卒中患者においては運動耐容能のみならず歩行能力やバランス能力の評価としても有用であり、身体能力評価として使用されています。通常業務として評価している入院前や入院時の臨床情報を用いて、退院後の 6 分間歩行距離 (6MWD) を予測することができれば、理学療法介入当初から集中的に介入すべき患者を抽出することができ、理学療法を効率的に行うことができると考えています。

本研究の目的は、急性期脳卒中患者を対象に退院時 6MWD と入院前・入院時の臨床情報における関連因子を検討することです。

方法：カルテ情報を用いた後ろ向き観察研究です。

■ 対象となる患者

2020年1月～2021年3月末までに脳卒中で入院した患者

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢, 性別, Body Mass Index (体格指数), 疾患名, 既往歴, 入院時の National Institutes of Health Stroke Scale (脳卒中重症度評価スケール), 入院時の Mini Mental State Examination (認知機能評価), 退院時 6MWD, 入院前の仕事の有無, 入院前の自動車運転の有無, 入院前の主な移動手段 (自動車 or 自転車 or 公共交通機関 or 徒歩), 入院前の飲酒の有無, 入院時の喫煙の有無, 同居家族の人数, 入院時の血液検査結果 (総蛋白)

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院
芦澤遼太、リハビリテーション部

(様式 17)

研究番号	第 21-05
------	---------

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971